

三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成23年度第4回会議					
開催日時	平成23年12月27日(火) 14時00分～16時00分					
場 所	三沢市役所 本館4階 大会議室					
出席者	会 長	小渡 章好	委 員	坂本 幸子	委 員	宮崎 倫子
	委 員	田中 和男	委 員	小笠原 和彦	委 員	佐藤 美仁
	委 員	佐藤 範幸	委 員	小泉 眞章	委 員	遠藤 恵介
	委 員	鈴木 唯一	委 員	山本 文彦	アドバイザー	吉田 樹
	事務局	三沢市：米田政策財政部長、堀課長補佐、出戸係長 種市主事、樋口主事 千代田コンサルタント：松浦、川崎 ITSアライアンス：若山				
会議次第	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 (議案第1号) 平成23年度三沢市地域公共交通会議補正予算(第1号) (協議事項) (1) 三沢市コミュニティバスの実証運行実績について (2) 三沢市コミュニティバスの本格運行移行について (報告事項) (1) バス停利用環境整備に関する検討状況について (2) あしあとランプの整備状況について (3) 十和田観光電鉄鉄道廃止代替バスについて (4) その他 4 閉 会					
会議の経過及び審議結果(概要)						
1 開 会 2 会長挨拶 小渡会長挨拶 3 議 事 (議案第1号) 【平成23年度三沢市地域公共交通会議補正予算(第1号)】 事務局等から資料1を説明し、全会一致で了承された。						

(協議事項)

【(1) 三沢市コミュニティバスの実証運行実績について】

事務局、千代田コンサルタント等から資料2を説明。

<主な意見>

(佐藤委員)

- ・ 北浜線の落ち込みについては、第1期は市立病院移転と冬場が重なったことが要因と考えられる。また、第2期は4月からの学生利用や定期券の種類によって価格が異なることにより、~~に~~変動があったことが考えられる。

(吉田アドバイザー)

- ・ P3の4つのグラフが今日の要点を示していると思う。
- ・ 北部路線は、主に定期券利用者が多いことが考えられるため、定期券購入動向の精査が必要である。
- ・ 街なか路線は、利用者数は横ばいに対し、運行距離が増加している。ビードル東線の便増加が要因と考えられ、使われ方を見直すことがカギとなる。
- ・ 北部路線の収入減は、利用者数31%減と収入減31%減が同じことから、定期券利用動向の精査の上、利用者の母数の増減を精査する必要がある。
- ・ 街なか路線の18%減の理由が分からない。

(事務局)

- ・ ビードル東線の利用促進をするとともに、利用動向を精査していく。

【(2) 三沢市コミュニティバスの本格運行移行について】

事務局から資料3を説明し、全会一致で了承された。

(報告事項)

【(1) バス停利用環境整備に関する検討状況について】

千代田コンサルタントから資料4を説明。

<主な意見>

(小渡会長)

- ・ 地元参加というのは、実際にどのように要望しているのか。

(佐藤委員)

- ・ 特にこちらから要望しているわけではないが、バス停新設に伴い地元の方が自主的に設置していただいた箇所がある。

(小渡会長)

- ・ 地元の方と連携して、各地域で整備方法を検討するのもいいと思う。

(吉田アドバイザー)

- ・ 具体的なデザインは今後考えていくと思うが、一番重要なのは時刻表のデザインである。
- ・ 時刻表デザインで、路線図は略図にして、時刻表のスペースを確保したほうが良いと思う。
- ・ 時刻表で経由地を記載したり、乗継情報も記載したものを一番最優先で改善したほうが良いと思う。

- ・ ひまわりデザインは、黄色ベースのものは現行と変わらないので工夫が必要である。また十鉄代替バスの表示スペースの確保も必要である。

【(2) あしあとランプの整備状況について】

I T Sアライアンスから資料5を説明。

<主な意見>

(吉田アドバイザー)

- ・ 運転手の押し忘れ等、現場徹底をお願いしたい。

【(3) 十和田観光電鉄鉄道廃止代替バスについて】

十和田観光電鉄から資料6を説明し、全会一致で了承された。

【(4) その他】

次回2月下旬に開催予定。本格運行に向けて、十鉄代替バスを含めた4月ダイヤ改正の協議結果の報告と、総合連携計画3カ年計画最終年度に当るため、来年度の事業方針、事業計画を示す予定。

4 閉 会

以上